

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年10月1日

事業所名 コペルプラス 大宮教室

保護者等数（児童数）26名

回収数 23名

割合 88.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	3			◎ ・限られたスペースではあるが、先生がちゃんと見てくれている。 △ ・運動の時に、壁にぶつかる恐れがあるかもと思う時がある。 ・体が大きくなってきて、活動内容によってはやや狭さを感じる時もある。	・限られたスペースでの活動となるため、特に運動時や集団レッスンでの活動では、職員を余分に配置することで、安全面を配慮します。 ・個々の実態や特性に配慮し、共有スペースの使用時間を決める等対応していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	3				・職員1人ひとりが、専門性に欠ける分野での研修に参加し、専門性を強化します。 ・利用者様の実態や、保護者様のニーズに合ったテーマを選定し、事業所内研修を計画的に行います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3		1	△ ・触ってはいけないもの、入ってはいけない場所を明確にしてほしい。	・誰が見ても分かるように、イラスト+「立入禁止」の掲示物を貼る等、視覚での情報を強化します。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	2				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	2		◎ ・支援計画の更新時には、しっかりと面談を行い、保護者の話を聞いた上で子どもに合った支援計画を作成してくれている。 ・就学や就学後の相談も、親身になって対応していただけている。 ・こちらの要望や思いをととも丁寧に聞いてもらえる。	・カンファレンスにて、レッスンでの様子や面談時のヒアリングの情報を共有することにより、見通しを持って1人ひとりに合った支援を具体化していきます。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	2		1	◎ ・子どもの問題点をとても良く把握していただいて、克服するためのレッスンないようにしていただけている。しかも、先生方で共有してくれている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	3			◎ ・固定化されるプログラムがあることで、子どもの安心感や達成感の育成に繋がるともいえる。	・一部のプログラムを固定化しながらも、利用者様の課題や次のステップへ繋げるための支援策を学ぶ機会を作ります。

							・個別性があり、我が子の課題や特性に合った内容を追加していただいている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	9	3		
	保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				
⑪		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23					
⑫		保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	15	4	1	3	◎ ・こちらの話を親身に聞いていただけて、アドバイスをもらっている。更に、レッスン内容を変えていただいている。	

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	3			◎ ・園との連携、情報交換の機会を設けていただいている。	・保育所等訪問支援事業の開始にあたり、より一層利用者様、保護者様の声に耳を傾け、園との連携を図ります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	2	1	△ ・両親が日替わりで通所付き添いをしているので、支援していただいているかもしれないが、分からない。	・HUG(記録)等を通して、保護者様に共通した情報を共有していきます。

⑮	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p>	10	6	4	3	<p>☆ ・開催はあったが、こちらの都合で参加できていない。 △ ・開催されているが、仕事をしているため予定が合わず参加できてない。開催日が複数あったり2か月前からアナウンスしていただけたりと予定を合わせやすい。 ・保護者同士は、連携が取れているとは言い難い。</p>	<p>・年間計画に、大凡の日付を明記することで、保護者様に見通しを立てていただき、できるだけ多くのご家庭に参加いただけるように対応します。</p>
⑯	<p>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか</p>	18	1	1	3		<p>・情報共有等の引継ぎ事項の確認を、より徹底していきます。 ・利用者様、保護者様の変化にいち早く気付けるよう、普段の関わりや支援場面で、積極的にコミュニケーションを図ります。</p>
⑰	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p>	21	1		1		
⑱	<p>定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか</p>	20	1	1	1	<p>◎ ・HUG システム上で毎回のレッスン評価をしていたり、連絡事項の確認をしていたりしている。</p>	
⑲	<p>個人情報の取扱いに十分注意されているか</p>	22	1			<p>△ ・具体的な事例の提示⇐個人情報の開示に繋が</p>	<p>・情報共有を図る場所、時間、音量に気を付けながら、職員間</p>

							る話し方は、少し気になる。	の情報共有にあたります。また、具体的な事例を参考に会話をする際は、個人が特定できてしまう明言は避け、保護者様が快くコミュニケーションを図れる環境をつくっていきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	1				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22			1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	4		1	◎ ・レッスンは、楽しく取りくんでいる。 △ ・同時間帯に友達がいると不安な様子がある。入園前から参加していた、集団でのレッスンでの不安な気持ちを思い出してしまう様子がある。友達がいるも、不安な気持ちを軽減してほしい。	・利用者様に安心して通所していただけるよう、環境設定や声かけ等、事前準備や支援を大切にします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	18	4	1		◎ ・日常動作での苦手またはできていない事項の指摘や訓練、先生方のポジティブな声掛けにより、着実に成長しているのが見て取れる。	

						<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けての カリキュラムも含 め、親の相談の 時間も確保いた だき、感謝と共に 非常に救われる 思いでいる。</li> <li>・たくさんの経験を 積める場所なの で、これからもた くさんの経験をさ せてあげたい。</li> <li>・Q②の不安が和 らげば、とても満 足。</li> </ul> <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育センターで の助言をヒントと した支援を取り入 れただけだとあり がたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様に合った支 援を提供できるよう、関 係機関と密に連携を取 り、あわせて職員一人 ひとりのスキルアップを目 指します。</li> </ul>
--	--	--	--	--	--	--	---

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。